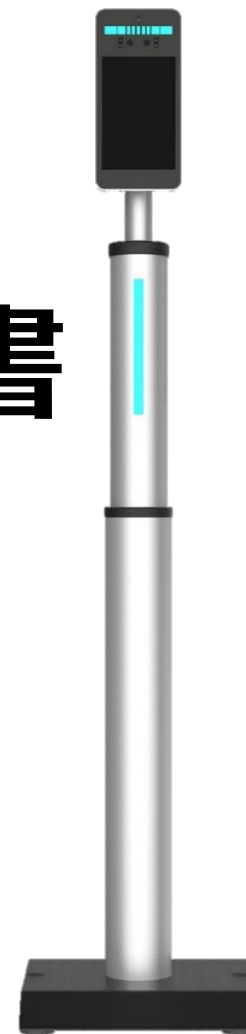


LYSITHEA用 勤怠データ連携手順書

Vol.3

ロジックINAソリューションズ株式会社



LTC-T80シリーズ - 顔認証による打刻方法の種類（2つ）

ロジテックのLTC-T80シリーズは、顔認証で打刻する「タイムレコーダー」の役割を担います。

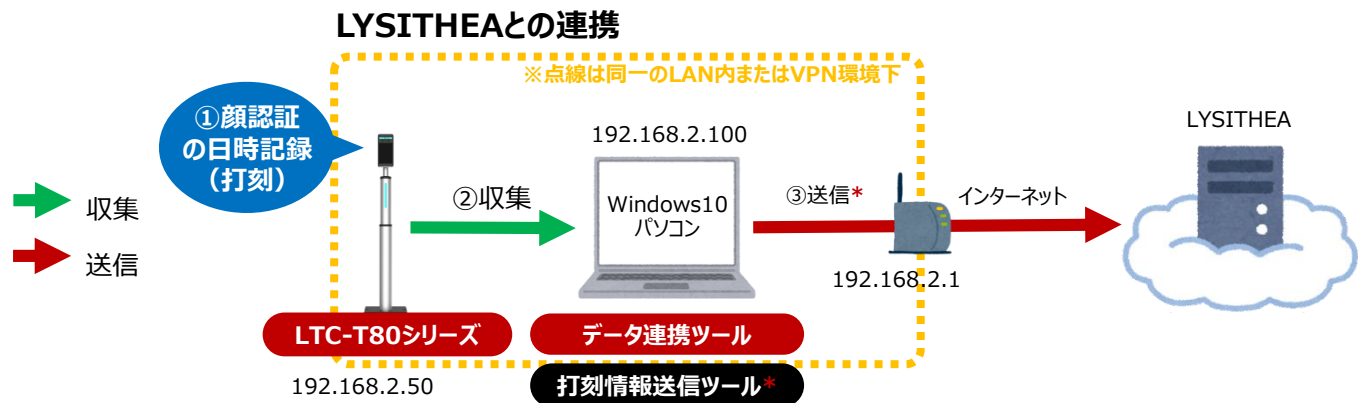


勤怠管理システムと打刻データ連携の構成例

ロジテックは顔認証製品 **LTC-T80シリーズ** と、顔認証製品と勤怠管理システムの間で打刻データの抽出・送信のやり取りを行う **データ連携ツール** を提供します。ロジテックでは「LTC-T80シリーズ」と「データ連携ツール」の使い方をサポートします。

【連携概要】

ロジテックのLTC-T80シリーズはタイムレコーダーの役割として、顔認証を行うと①認証した日時が打刻データとして記録されます。この記録をデータ連携ツールが②打刻データを収集し、③勤怠管理システムへ送信します。尚、**打刻データをクラウドへ送信するプログラムはリシテア社（または株式会社日立ソリューションズ）が提供**します。



* リシテア社（または株式会社日立ソリューションズ）が提供するプログラムでクラウドへ送信します。

種類	システム名	打刻運用	注意事項
クラウド	LYSITHEA	タッチレス	・ 閾値時刻から24時間前の打刻データをシステムへ反映します（閾値時刻を過ぎたタイミングから打刻データを連携）。 ・ 勤怠管理システムへ登録済みデータの修正等はシステム側で行います。 ・ 24時間以内の勤務時間のお客様向け。閾値時刻前の24時間の中で一番最初の打刻を「出勤」、一番最後の打刻を「退勤」として連携します。
		タッチ	自動判定による打刻データの間引きや勤務日（日またぎ）の処理はなく、打刻データ連携ツールが端末から取得した勤怠時刻をそのまま勤怠データとしてファイル出力します。 ※LYSITHEAの勤怠管理システム(クラウド)は、“外出”、“再入”は非対応の為、端末の勤怠管理システムの設定は、勤怠管理システムをONに、“外出管理”をOFFに、“外出”、“再入”ボタンを非表示にしてください。

1.事前準備

1-① 勤怠管理システムと打刻データを連携させるための準備

顔認証製品で打刻したデータを勤怠管理システムへ登録するためには、下記の「必要な製品・ソフト」を事前に準備いただく必要があります。

提供	必要な製品・ソフト	IP設定方法	用途	準備方法
ロジテック	顔認証製品 LTC-T80シリーズ	固定IPアドレス	顔認証による日時打刻（タイムレコーダー）	販売元：エレコムまたはエレコムと取引のある販売店様またはロジテックダイレクトでご購入
	データ連携ツール *1	—	打刻データを製品から抽出して勤怠管理システムに登録するソフトウェア	ユーザー情報を登録し、購入した顔認証製品のS/N（製造番号）で認証してソフトウェアをダウンロード
お客様	Windows10以降（32/64bit）パソコン *2	—	ロジテックが提供するデータ連携ツールを動作させるPC	お客様が既に所有するパソコンまたはお客様で新規にご購入
	勤怠管理システム *3	—	打刻データで勤怠管理を行うシステム	お客様の社内で既に稼働する勤怠管理システムまたはお客様で新規に導入
	VPN等のネットワーク *4	—	必要な製品・ソフト間で通信できる環境の設計・構築	VPN環境やネットワーク設計に関するお問い合わせは、お客様の情報システムご担当者様へお願い致します。

*1 お客様でご用意いただくWindows10のパソコンに保存して使用します。次ページ「1-② 勤怠管理システム「データ連携ツール」利用申請の手順」にそって連携ツールの入手を行ってください。

*2 Windows10以降のOSが稼働するパソコンであれば種類（スペック等）は問いません。

*3 購入や導入のご相談、打刻データ登録後の管理方法等は、勤怠管理システムを扱う販売店様へお問い合わせ下さい。ロジテックでは、勤怠管理システムに関するお問い合わせにはお答えできかねます。

*4 複数拠点の場合、必要な製品・ソフト間で通信できるように、予めお客様にVPN環境など、ネットワークの設計・構築をお願いしております。離れた拠点でも顔認証デバイスやデータ連携ツール（Windows10PC）がローカルIPアドレスを指定して通信できる事が必要です。
VPN環境やネットワーク設計に関する問い合わせは、お客様の情報システムご担当者様へお願い致します。

1-② 勤怠管理システム「データ連携ツール」利用申請の手順

1. 「[勤怠管理システム データ連携ツール 利用申請フォーム](#)」からツールをダウンロードするための申請手続きをします。

<勤怠管理システム データ連携ツール 利用申請フォーム>
<https://dl.logitec.co.jp/download.php?pn=LST-D-944>

2. 必要事項を入力し[同意して確認画面へ]ボタンを押します。

同意して確認画面へ

- ① 申請する製品シリアル番号 (S/N) **[必須]**
製品背面のラベルに記載されたS/Nから始まる番号になります。
S/N末尾のアルファベットの入力は不要です。
- ② 連携する勤怠管理システムを選択して下さい。**[必須]**
打刻データを登録する勤怠管理システムを選択して下さい。
3. 入力内容をご確認いただき[送信]ボタンを押します。訂正する場合は、
[戻る]ボタンを押して下さい。

戻る

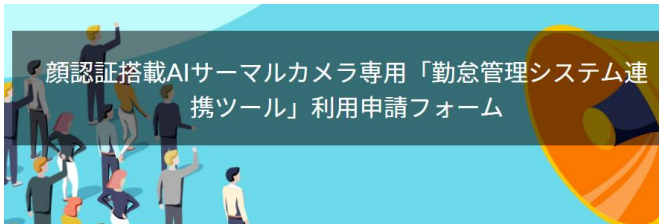
送信

4. 送信が正常に完了すると入力されたメールアドレス宛にお客様控えメールを送信します。
メール本文に記載されたデータ連携ツールのダウンロードURLをクリックし、先ほど入力いただいたS/Nで認証を行います。

<メール本文例>
■ 下記URLにアクセスいただき、ご利用中の製品のシリアルNo (S/N) を入力して認証処理をお願い致します。
認証後にデータ連携ツールをダウンロードすることができます。

xxxxxxxxxxxxxxxxx ダウンロードURL xxxxxxxxxxxxxxxxx

※シリアルNo (製造番号) は、製品本体背面上部に貼付されたラベルに記載しております。



ご入力

ご確認

完了

①

申請する製品シリアル番号 (S/N) **必須**

製品本体の背面に貼付されているシリアル番号 (S/N)

②

連携する勤怠管理システムを選択して下さい。 **必須**

選択してください

会社名 **必須**

例株式会社〇〇

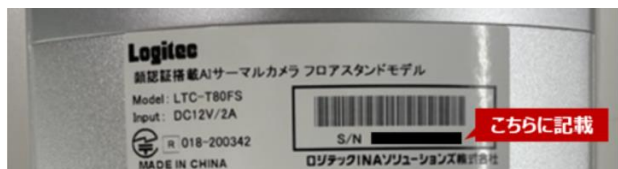
部署名 **必須**

5. URLをクリックすると下記ページが表示されます。[ページを開く]をクリックします。

名称	勤怠管理システムデータ連携ツール 認証ページ
説明	ダウンロードには、製品本体の背面に貼付されているシリアルナンバーが必要です。

ページを開く

6. 製品背面のラベルに記載されたS/Nから始まる番号になります。S/N末尾のアルファベットの入力は不要です。入力できたら[認証]ボタンをクリックします。



シリアルナンバー (S/N)

S/N :

認 証

リセット

7. 利用規約に同意いただき、ページ下部にある打刻データを連携する勤怠管理システムのボタンをクリックします。

ソフトウェア使用許諾契約書

以下の利用規約を必ずご一読ください。

本契約は、お客様（以下「お客様」とします）とロジテックINAソリューションズ株式会社（以下「弊社」とします）との間で弊社がお客様へ提供するソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とします）の使用権許諾に関して次のように条件を定めます。お客様は、お客様の責任で許諾ソフトウェアのダウンロード及びインストールを行ってください。許諾ソフトウェアのダウンロード及びインストールによってお客様に生じる損害について、いかなる場合も弊社は一切責任を負いません。

第1条（総則）

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権及びその他の財産権に関する諸法令及び諸条約によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従い弊社からお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、弊社または、本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利を弊社に認めた原権利者（以下原権利者）に帰属し、お客様に移転いたしません。

第2条（使用権）

1. 弊社は、許諾ソフトウェアの非独占的な使用権をお客様に許諾します。

各種ソフトウェアをダウンロードをする前に「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。
ダウンロードされた方は本許諾書に同意されたものとさせていただきます。

OBC奉行
用をダウンロードする

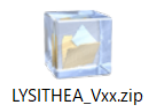
ジョブカン
用をダウンロードする

KING OF TIME
用をダウンロードする

NEC勤革時
公開準備中

1-③ Windows10へ「データ連携ツール」を保存

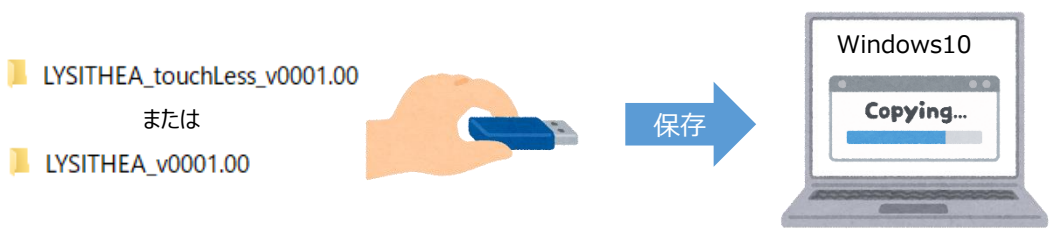
1. P6～の手順でダウンロードしたソフトウェア（ZIP形式の圧縮ファイル）を任意の場所へ解凍します。



2. 解凍したフォルダの中身は以下の通りです。（バージョンは例です）

- LYSITHEA_touchLess_v0001.00 ← 「touchless」表記が**ある**フォルダ＝「**タッチレス運用**」専用フォルダ
- LYSITHEA_v0001.00 ← 「touchless」表記が**ない**フォルダ＝「**タッチ運用**」専用フォルダ
- はじめにお読み下さい.txt ← 本マニュアルへの公開URLを記載しています。

3. 先ず、P2を参考に運用方法を決め、「タッチレス運用」の場合は「LYSITHEA_touchLess_v～」または「タッチ運用」の場合は「LYSITHEA_v～」のフォルダを選択します。データ連携ツールを動作させるために、USBメモリ等を使ってお客様がご用意したWindows10パソコンへ選択したフォルダを保存します。



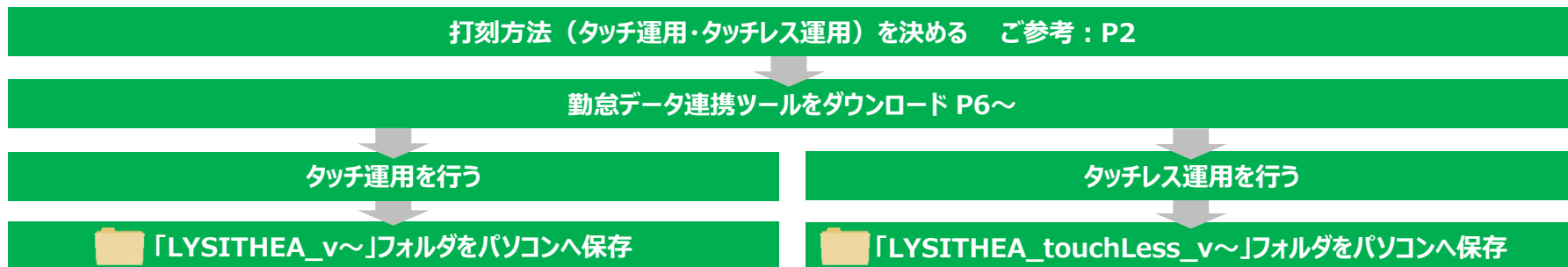
【ご参考】データ連携ツールの構成は以下の通りです。**実行プログラムと設定ファイルは同じフォルダに保存**して下さい。



1-④ 連携設定手順

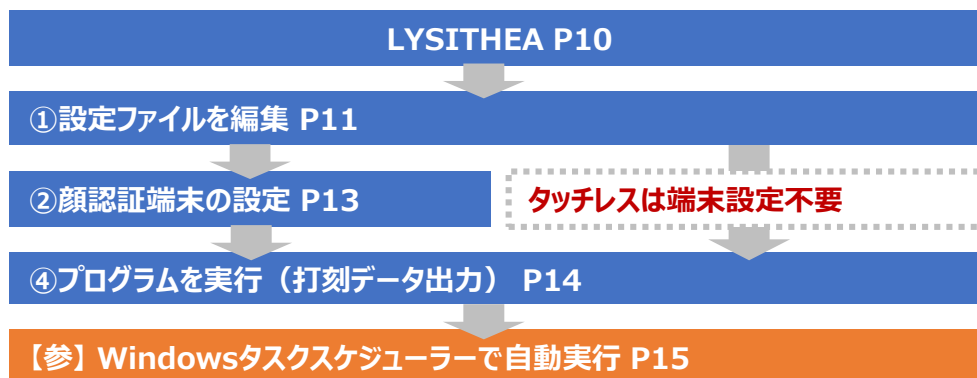
1. 事前準備

- 打刻方法（タッチ運用、タッチレス運用）を選択し、勤怠データ連携ツールをWindows10パソコンへ保存します。
- 打刻方法（タッチ運用、タッチレス運用）、勤怠データ連携ツールのダウンロード方法等は以下の手順にそって行います。
- 既に準備が完了している場合は、「2.データ連携ツールの設定手順」から設定を行って下さい。



2. データ連携ツールの設定手順

- タッチ運用、または、タッチレス運用の「データ連携ツール」がWindows10パソコンへコピーされている状態からの設定手順です。
- 「データ連携ツール」をダウンロードされていない場合は、「1. 事前準備」から設定を行ってください。



1. LYSITHEA

② 設定ファイルを編集

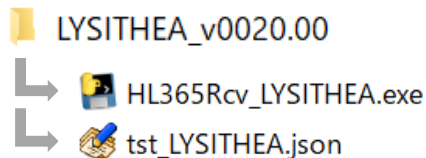
タッチ運用

```
{
  "setting": {
    "checkIn_start": "",
    "checkIn_end": "",
    "checkOut_start": "",
    "checkOut_end": "",
    "backup_retention_period": "90",
    "skip": "OFF"
  },
  "tst": [
    {
      "ipadr": "192.168.0.100",
      "user": "0000",
      "pw": "0000"
    }
  ]
}
```



タッチ運用は、出勤/退勤の打刻種別を管理できます。（リシテアは外出管理はできません）

<タッチ運用で使用するフォルダ・ファイルなど>



設定するには、タッチ運用：tst_LYSITHEA.json）をメモ帳など、テキストファイルの編集が可能なソフトウェアで開きます。各設定項目の " "（ダブルクォーテーション）内に設定内容を記述します。設定項目の説明や記述方法は下表の通りです。

No	設定項目	区分・表記	内容	説明
1	"setting":{	—	打刻データ連携設定	打刻データ連携に関する①～⑥の設定項目
①	"checkIn_start": "07:00:00",	HH : MM:SS（数値）	出勤判定開始時刻	・出勤判定開始時刻 ～ 終了時刻の範囲内の出勤時刻を勤怠データ（CSVファイル）に出力します。
②	"checkIn_end": "10:00:00",	HH : MM:SS（数値）	出勤判定終了時刻	・退勤判定開始時刻 ～ 終了時刻の範囲内の退勤時刻を勤怠データ（CSVファイル）に出力します。
③	"checkOut_start": "17:00:00",	HH : MM:SS（数値）	退勤判定開始時刻	・開始、終了時刻の両方、あるいは片方未定義の場合は、従来通りの動作になります。
④	"checkOut_end": "20:00:00",	HH : MM:SS（数値）	退勤判定終了時刻	
⑤	"backup_retention_period": "90",	日数（数値）	打刻データ自動削除	日数：プログラム実行日から指定した日数より前に作成されたバックアップファイルを削除します。 0（ゼロ）：バックアップファイルの削除をしません。
⑥	"skip": "OFF"	ON/OFF（英字）	端末エラースキップ	ON：疎通できない端末をスキップしエラーストップにしません。 OFF：疎通できない端末がある場合エラーストップします。 ※従業員が複数の端末で打刻する場合は必ず「OFF」でご利用ください。データが正常に記録できません。
2	"tst":[	—	端末情報設定	打刻データを収集するメイン端末の情報①～③の設定項目 *1
①	"ipadr": "192.168.0.100",	IPアドレス（数字）	メイン端末IPアドレス	メイン端末に設定されているIPアドレスを指定します。
②	"user": "0000",	半角英数	管理者ID	メイン端末に設定されている管理者IDを指定します。
③	"pw": "0000"	半角英数	管理者PASSWORD	メイン端末に設定されている管理者PASSWORDを指定します。

*1：メイン端末1台につき①～③の情報が必要です。メイン端末が複数台ある場合、記述方法はP13を参照してください。

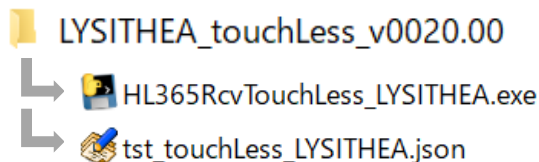
② 設定ファイルを編集 タッチレス運用

```
{
  "setting": {
    "th": "4:00:00",
    "checkIn_start": "",
    "checkIn_end": "",
    "checkOut_start": "",
    "checkOut_end": "",
    "backup_retention_period": "90",
    "skip": "OFF"
  },
  "tst": [
    {
      "ipadr": "192.168.0.100",
      "user": "0000",
      "pw": "0000"
    }
  ]
}
```



タッチレス運用は、顔認証日時をそのまま打刻データとして出力します。外出管理はできません。

<タッチレス運用で使用するフォルダ・ファイルなど>



設定するには、タッチ運用：tst_touchless_LYSITHEA.json）をメモ帳など、テキストファイルの編集が可能なソフトウェアで開きます。各設定項目の " "（ダブルクォーテーション）内に設定内容を記述します。設定項目の説明や記述方法は下表の通りです。

No	設定項目	区分・表記	内容	説明
1	"setting":{	—	打刻データ連携設定	打刻データ連携に関する①～⑥の設定項目
①	"th": "00:00:00",	HH : MM:SS（数値）	閾値時刻（固定値）	閾値時刻は変更できません。 <u>必ず「00:00:00」でご利用ください。値を変更すると打刻データは送信エラーとなります。</u>
②	"checkIn_start": "07:00:00",	HH : MM:SS（数値）	出勤判定開始時刻	・出勤判定開始時刻 ～ 終了時刻の範囲内の出勤時刻を勤怠データ（CSVファイル）に出力します。
③	"checkIn_end": "10:00:00",	HH : MM:SS（数値）	出勤判定終了時刻	・退勤判定開始時刻 ～ 終了時刻の範囲内の退勤時刻を勤怠データ（CSVファイル）に出力します。
④	"checkOut_start": "17:00:00",	HH : MM:SS（数値）	退勤判定開始時刻	・開始、終了時刻の両方、あるいは片方未定義の場合は、従来通りの動作になります。
⑤	"checkOut_end": "20:00:00",	HH : MM:SS（数値）	退勤判定終了時刻	・SS（秒）の省略可
⑥	"backup_retention_period": "90",	日数（数値）	打刻データ自動削除	日数：プログラム実行日から指定した日数より前に作成されたバックアップファイルを削除します。 0（ゼロ）：バックアップファイルの削除をしません。
⑦	"skip": "OFF"	ON/OFF（英字）	端末エラースキップ	ON：疎通できない端末をスキップしエラーストップにしません。 OFF：疎通できない端末がある場合エラーストップします。 <u>※従業員が複数の端末で打刻する場合は必ず「OFF」でご利用してください。データが正常に記録できません。</u>
2	"tst":[	—	端末情報設定	打刻データを収集するメイン端末の情報①～③の設定項目 *1
①	"ipadr": "192.168.0.100",	IPアドレス（数字）	メイン端末IPアドレス	メイン端末に設定されているIPアドレスを指定します。
②	"user": "0000",	半角英数	管理者ID	メイン端末に設定されている管理者IDを指定します。
③	"pw": "0000"	半角英数	管理者PASSWORD	メイン端末に設定されている管理者PASSWORDを指定します。

*1：メイン端末1台につき①～③の情報が必要です。メイン端末が複数台ある場合、記述方法はP13を参照してください。

tst（顔認証端末側の情報）の設定 - 複数の場合

- 複数台の製品を使用する場合は、②のように項目を追加します。
記述の際、1台目と2台目の設定の間の**カンマの記述**を必ずして下さい。

① 1台設定

```
{
  "tst": [
    {
      "ipadr": "192.168.0.100",
      "user": "0000",
      "pw": "0000"
    }
  ]
}
```

② 2台以上の設定

※マルチデバイス機能を利用している場合、メイン端末の情報
のみの設定でも打刻データを取得できます。連携数が多い場
合はメイン端末への負荷が大きくなる場合があります。その場
合は、端末毎のIPアドレス指定をお願い致します。

```
{
  "tst": [
    {
      "ipadr": "192.168.0.100",
      "user": "0000",
      "pw": "0000"
    },
    {
      "ipadr": "192.168.0.101",
      "user": "0000",
      "pw": "0000"
    }
  ]
}
```

- 以上でデータ連携ツールの設定ファイルの編集は終わりです。
最後に設定ファイルを上書き保存し、設定が反映されていることをご確認して下さい。

② 顔認証端末の設定

製品本体の勤怠管理システムモードを有効にします。「タッチ運用」と「タッチレス運用」で設定が異なるためご注意ください。

※**タッチレス運用は「勤怠管理システム：OFF」で使用します。**

タッチ運用

1. 本体の「設定」→「端末運用モード」→
「勤怠管理システム」を「ON」にします。



タッチ運用

2. 勤怠管理システムモードをONにするとその他の設定項目が表示されますが、LYSITHEAでは使用しませんので設定は以上です。



※LYSITHEAは外出管理ができません。
「外出管理：OFF」の設定で使用する下さい。
※端末番号の設定は不要となります。

③ プログラムを実行（打刻データ出力）

- 製品に記録された勤怠データをシステム側へ登録する場合、「タッチ運用（HL365Rcv_LYSITHEA.exe）」または「タッチレス運用（HL365RcvTouchLess_LYSITHEA.exe）」のいずれかのプログラムをダブルクリックして実行します。以降の運用は、任意のタイミングで手動実行することで打刻データを送信し、勤怠管理システムへ登録することができます。
- 勤怠管理システムへ登録された打刻データの修正等は勤怠管理システム側で行います。

タッチ運用



HL365Rcv_L
YSITHEA.exe

タッチレス運用



HL365RcvT
ouchLess_L
YSITHEA.exe

データ連携ツールを定期的に自動実行する場合は、Windows10のタスクスケジューラー機能を使って設定（「**P15【参】Windowsタスクスケジューラーで自動実行**」をご参照ください）をお願い致します。

【参】Windowsタスクスケジューラーで自動実行

Windowsタスクスケジューラーの設定例です。

本例は、cドライブに作成したHL365フォルダ内の送受信プログラムを毎週日曜日の1:00に実行するための設定です。

Windows管理ツールからタスクスケジューラーを起動し、画面右の基本タスクの作成をクリックします。以降は①～⑥のように設定してください。

①

基本タスクの作成ウィザード

基本タスクの作成

このウィザードでは、よく使うタスクをすばやくスケジューリングします。複数のタスクの操作やトリガーなどの詳細オプションや設定は、[対象] ペインの [タスクの作成] コマンドを使ってください。

名前(A): 動感プログラム

説明(D):

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

②

基本タスクの作成ウィザード

タスクトリガー

基本タスクの作成

いつタスクを開始しますか?

トリガー

毎週

操作

プログラムの開始

完了

☐ 毎日(D)

☒ 毎週(W)

☐ 毎月(M)

☐ 1回限り(O)

☐ コンピューターの起動時(H)

☐ ログオン時(L)

☐ 特定イベントのログへの記録時(E)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

③

基本タスクの作成ウィザード

毎週

基本タスクの作成

開始(S): 2021/12/01 1:00:00

タイムゾーン間で同期(Z)

トリガー

毎週

操作

プログラムの開始

完了

間隔(C): 1 週間ごとの次の曜日:

☒ 日曜日(U) ☐ 月曜日(A) ☐ 火曜日(T) ☐ 水曜日(Y)

☐ 木曜日(H) ☐ 金曜日(F) ☐ 土曜日(R)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

④

基本タスクの作成ウィザード

操作

基本タスクの作成

タスクでどの操作を実行しますか?

トリガー

毎週

操作

プログラムの開始

完了

☒ プログラムの開始(T)

☐ 電子メールの送信 (非推奨)(S)

☐ メッセージの表示 (非推奨)(M)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑤

基本タスクの作成ウィザード

プログラムの開始

基本タスクの作成

トリガー
毎週

操作
プログラムの開始

完了

プログラム/スクリプト(P):
C:\HL365\HL365Rcv_Y00\exe 参照(R)...

引数の追加 (オプション)(A):

開始 (オプション)(T):
C:\HL365\

プログラムを指定してください

プログラムがあるフォルダのパスを設定してください

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑥

基本タスクの作成ウィザード

要約

基本タスクの作成

トリガー
毎週

操作
プログラムの開始

完了

名前: 勤怠プログラム

説明:

トリガー: 毎週 2021/12/01 以降毎週日曜日、1:00 に起動

操作: プログラムの開始; C:\HL365\HL365Rcv_Y00\exe

☐ [完了] をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く
[完了] をクリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されます。

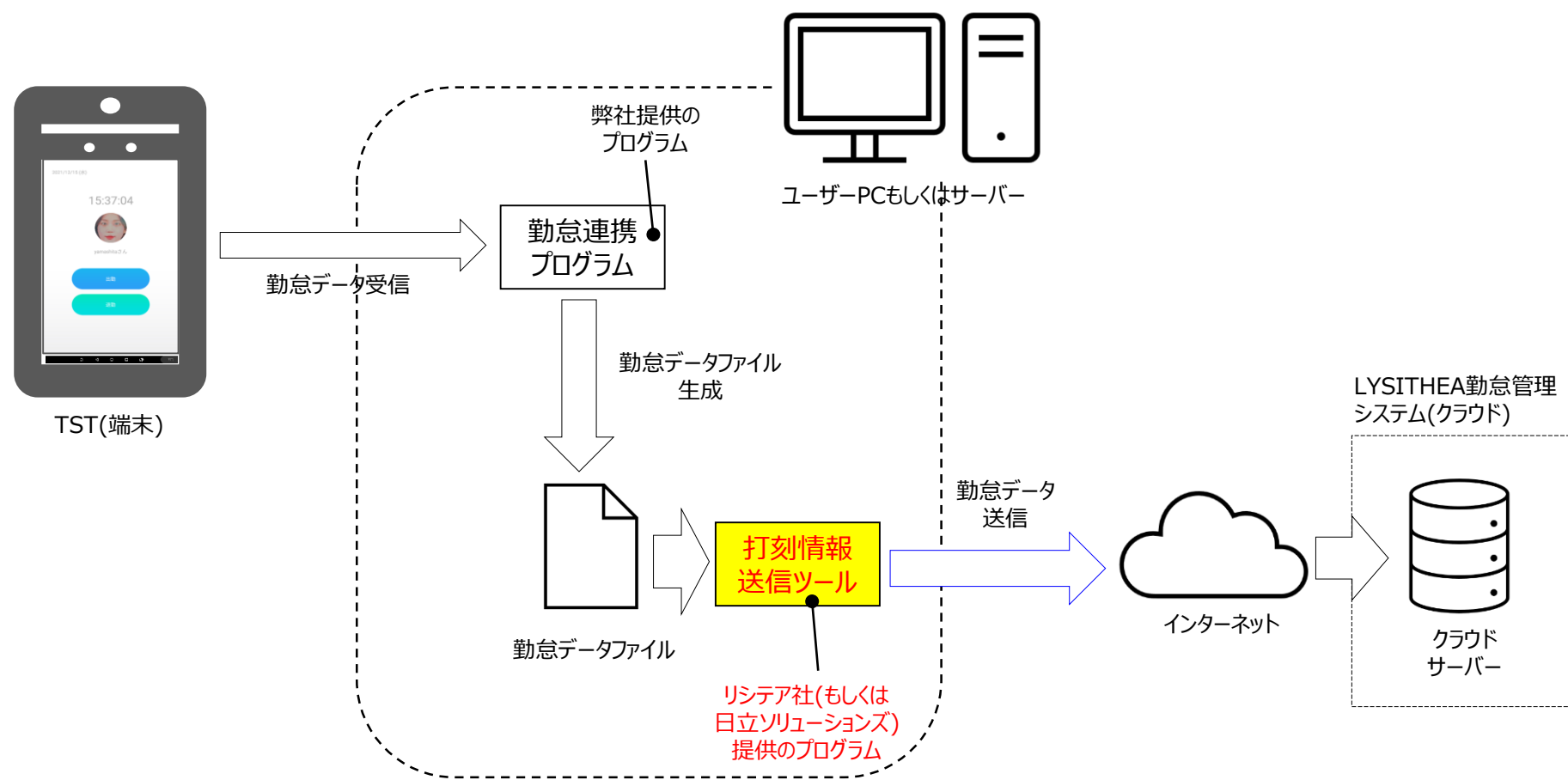
< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

その他：プログラム詳細資料

1. 製品概要
2. 勤怠連携プログラム概要
- 3-1. LYSITHEA用勤怠連携プログラム タッチ版
- 3-2. LYSITHEA用勤怠連携プログラムの設定 タッチ版
- 3-3. 判定理論と勤務日の処理 通常版
- 4-1. LYSITHEA用勤怠連携プログラム タッチレス版
- 4-2. LYSITHEA用勤怠連携プログラムの設定 タッチレス版
- 4-3. 判定理論と勤務日の処理 通常版
5. 勤怠データフォーマット
6. 勤怠管理システムの打刻時刻の表示例
7. 打刻情報送信ツールについて
8. 打刻情報送信ツール実行後の勤怠データの流れについて
9. 打刻データ連携ツールのログ一覧（タッチ版）
10. 打刻データ連携ツールのログ一覧（タッチレス版）

1. 製品概要

本製品は勤怠連携プログラムを使用して勤怠データを取得することができます。
勤怠連携プログラムはPCもしくはサーバーで実行し、LYSITHEA勤怠管理システム用の勤怠データファイルを作成します。
生成した勤怠データファイルは、打刻情報送信ツールを使用し、LYSITHEA勤怠管理システム(クラウド)へ、勤怠データを送信します。
打刻情報送信ツールは、リシテア社(もしくは日立ソリューションズ)より提供されるプログラムになります。



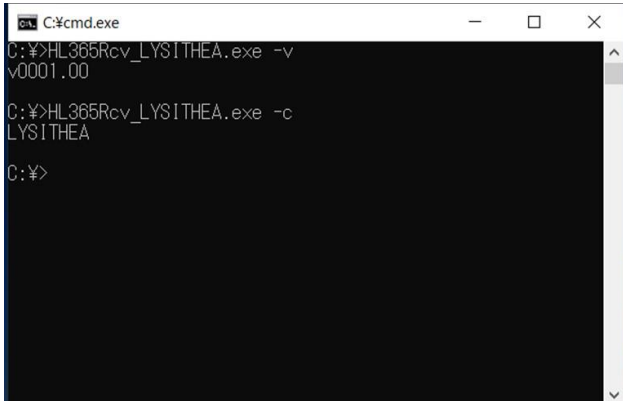
2. 勤怠連携プログラム概要

勤怠連携プログラムには、勤怠画面をタッチするモードで使用する通常版と、勤怠画面を出さないモードで使用するタッチレス版の2種類あります。
本プログラムはウィンドウズコンソールで動作するプログラムです。
勤怠連携プログラムを定期的に行う場合は、ウィンドウズ タスクスケジューラーをお使いください。

通常版製品画面



勤怠連携プログラム



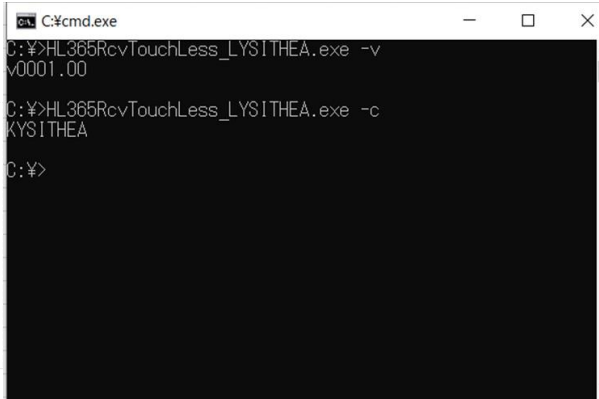
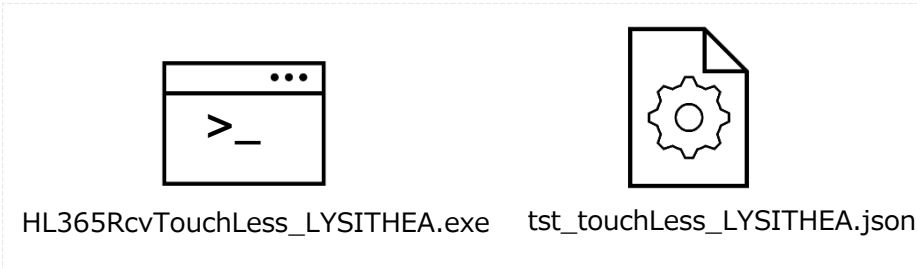
プログラムの引数 -v でバージョン、-cで仕向けを確認することができます。

* LYSITHEAの勤怠管理システム(クラウド)は、“外出”、“再入”は非対応の為、
端末の勤怠管理システムの設定は、勤怠管理システムをONに、“外出管理”をOFFに、“外出”、“再入”ボタンを
非表示にしてください。

タッチレス版製品画面



タッチレス版勤怠連携プログラム

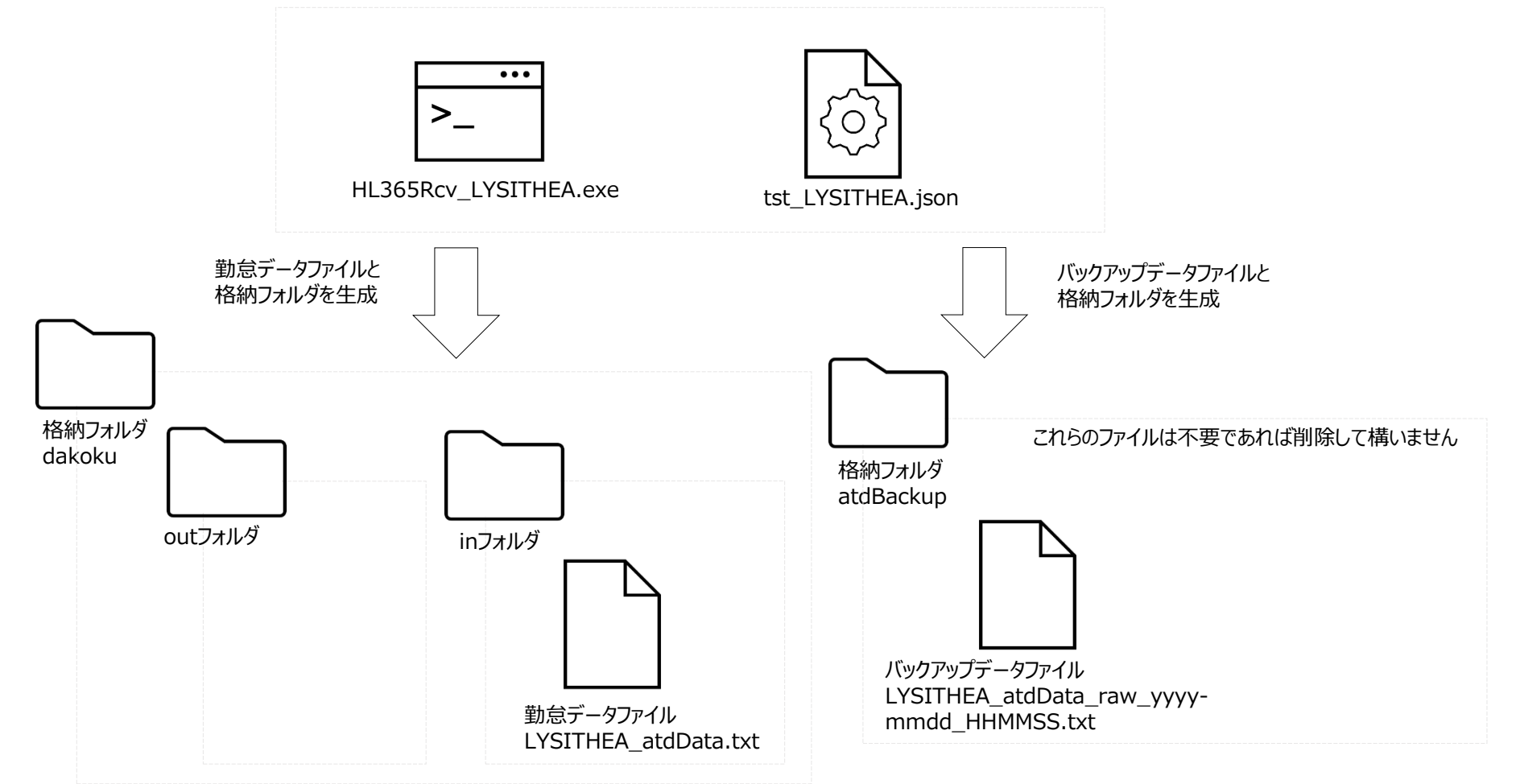


プログラムの引数 -v でバージョン、-cで仕向けを確認することができます。

3-1. LYSITHEA用勤怠連携プログラム タッチ版

LYSITHEA勤怠管理システム用の勤怠連携プログラムは、実行形式ファイルのHL365Rcv_LYSITHEA.exeと、その設定ファイルのtst_LYSITHEA.jsonの2つで構成されます。HL365Rcv_LYSITHEA.exeを実行すると、tst_LYSITHEA.jsonに設定された内容に従い、端末から勤怠データを取得し、格納するdakokuフォルダとその配下にinフォルダと、outフォルダを生成します。勤怠データはinフォルダ内に生成されます。

また、勤怠データファイルのバックアップデータファイルと、格納するatdBackupフォルダも同時に生成します。バックアップデータファイルは一定期間保存し、不要の場合は削除しても構いません。



3-2. LYSITHEA勤怠連携プログラムの設定 通常版

勤怠連携プログラムの設定ファイル tst_LYSITHEA.jsonには、端末のパラメータを設定します。

tst項目
使用する端末毎にIPアドレス、ユーザー名、パスワードを設定します。
①の例では、IPアドレスが192.168.0.100、ユーザー名は0000、パスワードは0000の場合です。

また、複数台の端末を使用する場合は、②のように項目を追加します。
この際、カンマの有無に注意して下さい。

① 1台設定

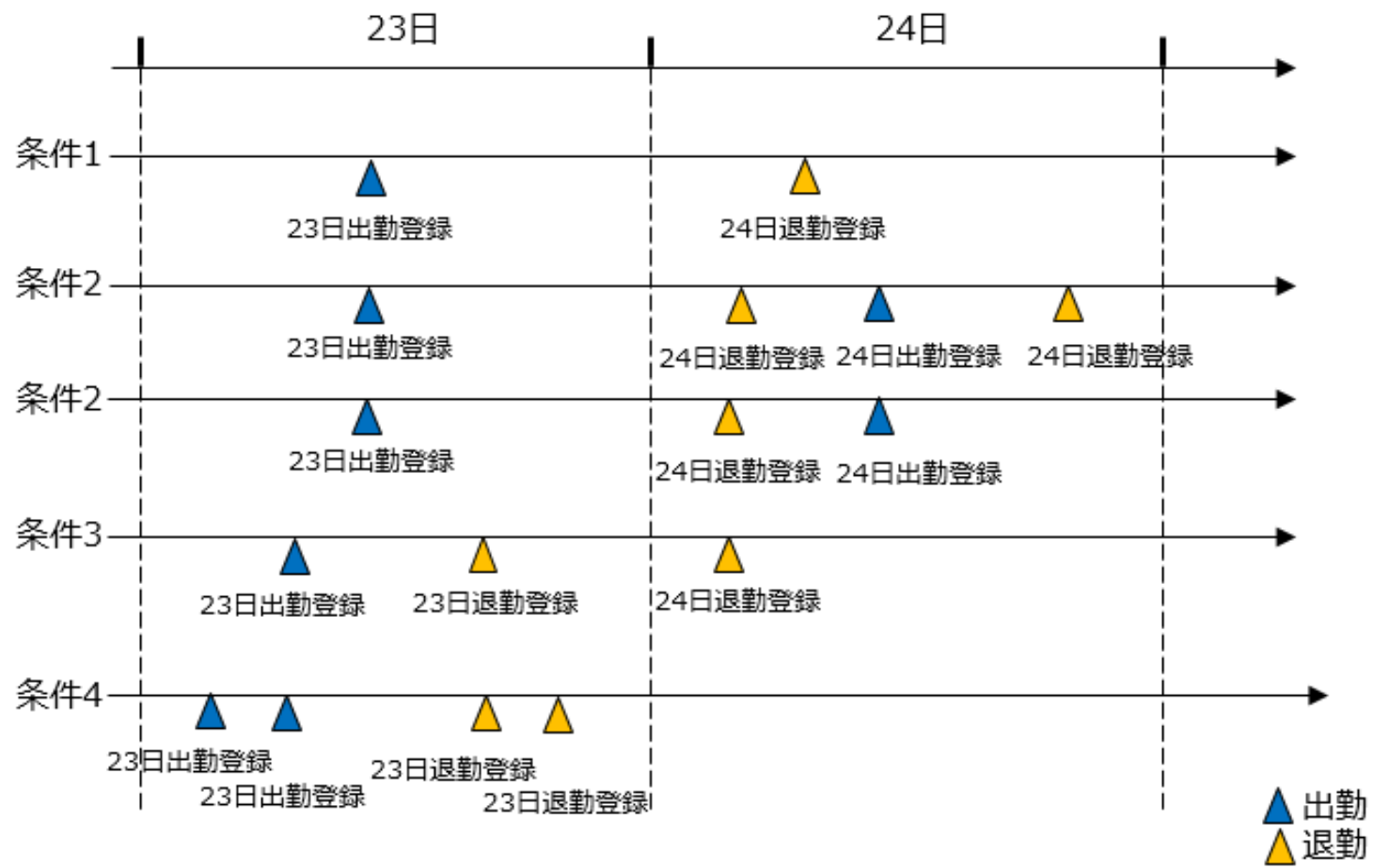
```
{
  "tst": [
    {
      "ipadr": "192.168.0.100",
      "user": "0000",
      "pw": "0000"
    }
  ]
}
```

② 2台設定

```
{
  "tst": [
    {
      "ipadr": "192.168.0.100",
      "user": "0000",
      "pw": "0000"
    },
    {
      "ipadr": "192.168.0.101",
      "user": "0000",
      "pw": "0000"
    }
  ]
}
```

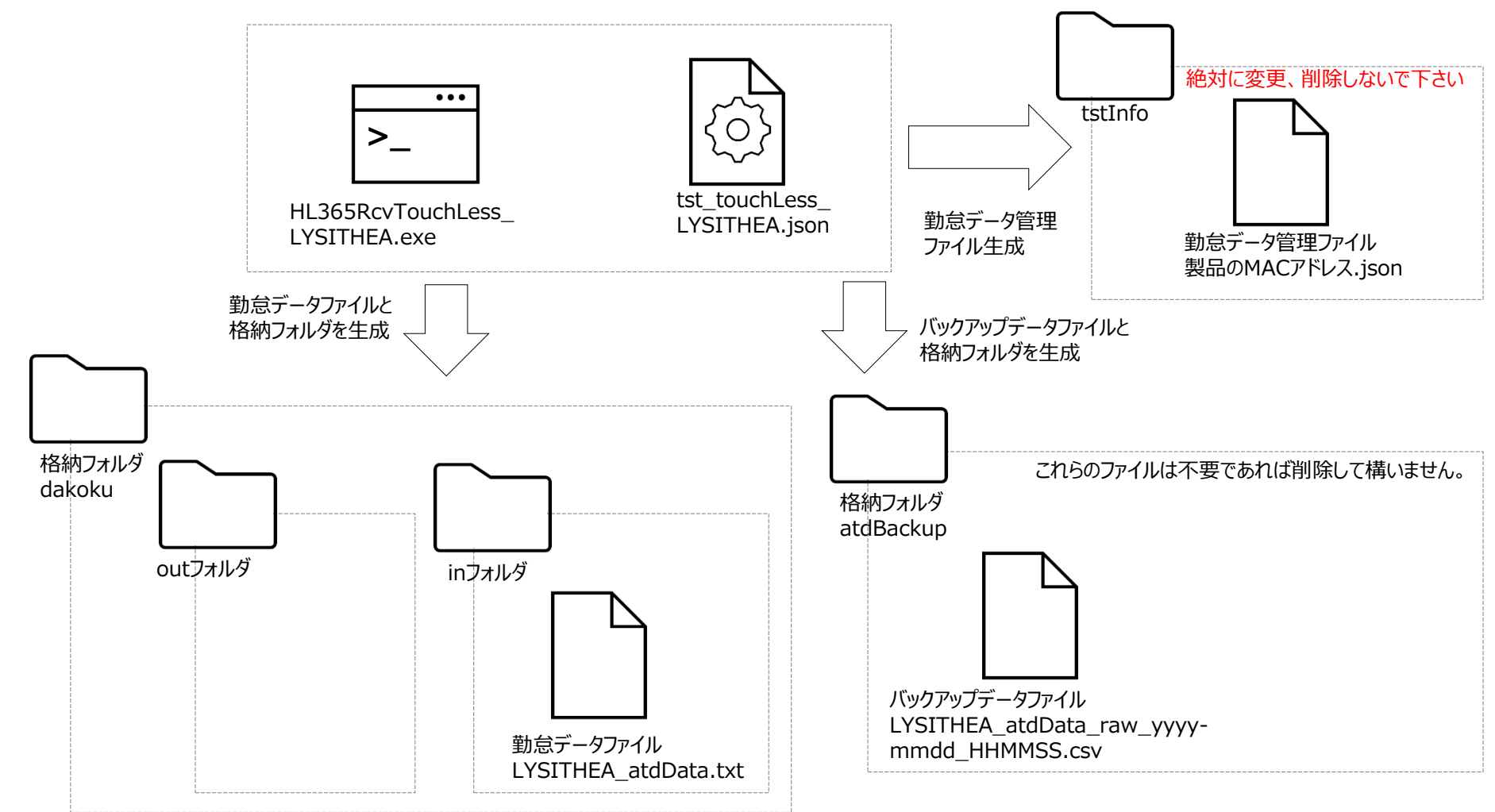
3-3.判定理論と勤務日の処理 タッチ版

判定や勤務日の処理はなく、端末から取得した勤怠時刻をそのまま勤怠データとしてファイル出力します。



4-1. LYSITHEA用勤怠連携プログラム タッチレス版

タッチレス版では、実行形式ファイルのHL365RcvTouchless_LYSITHEA.exeと、その設定ファイルのtst_touchLess_LYSITHEA.jsonの2つで構成されます。通常版とは、設定ファイルに閾値時刻“th”の項目を追加している点、勤怠データ管理ファイル生成する点が異なります。この勤怠データ管理ファイルは使用する端末毎に作られます。各端末が保持している処理済みの勤怠データを管理するための物で、通常、ユーザーが使用することはありません。しかし、削除や変更をすると正しい勤怠データを取得できなくなるので注意が必要です。



4-2. LYSITHEA用勤怠連携プログラムの設定 タッチレス版

タッチレス版の設定ファイルtst_touchLess_LYSITHEA.jsonでは、setting項目に閾値時刻 “th” を追加しています。

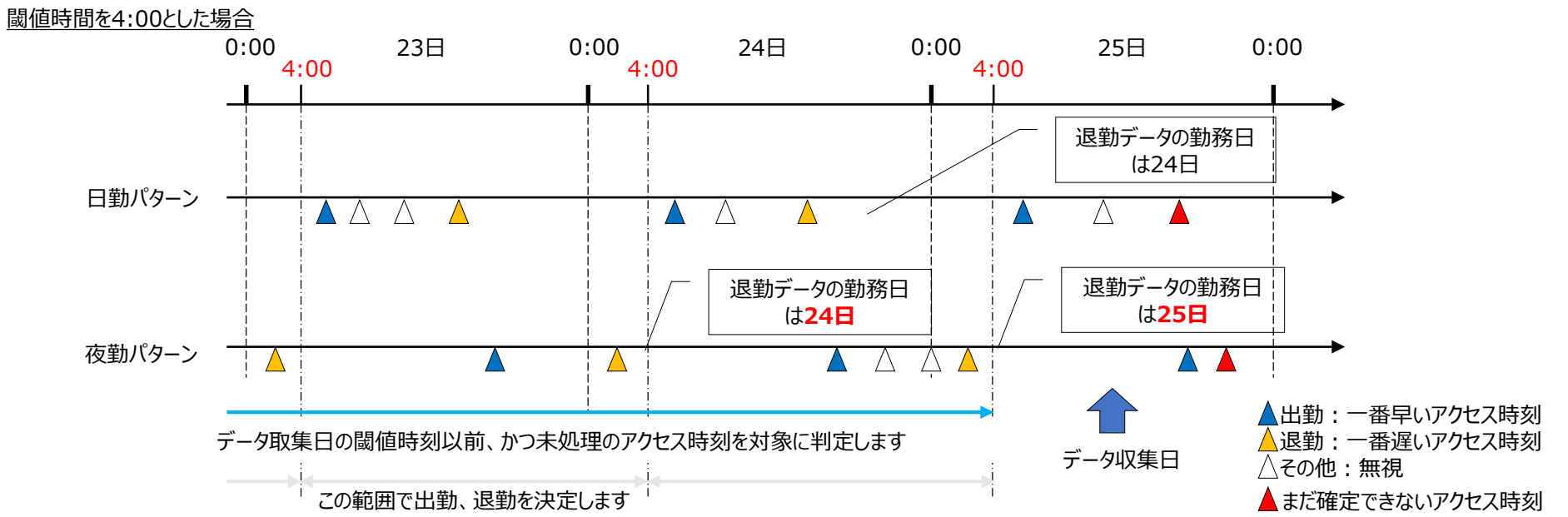
```
{
  "setting": {
    "th": "00:00:00",
    "delete date": 10,
    "checkIn_start": "07:00:00",
    "checkIn_end": "10:00:00",
    "checkOut_start": "17:00:00",
    "checkOut_end": "20:00:00",
    "delete_backup": "ON",
  },
  "tst": [
    {
      "ipadr": "192.168.0.100",
      "user": "0000",
      "pw": "0000"
    }
  ]
}
```

setting項目

- th
閾値時刻 “th”により、出勤と退勤を決定するための勤務期間が決まります。
“th”: “00:00:00”の場合は、当日の00:00:00から、当日の23:59:59の間の一番早い時刻を出勤に、一番遅い時刻を退勤とします。
“th”: “04:00:00”の場合は、当日の04:00:00から、次の日の03:59:59の間の一番早い時刻を出勤に、一番遅い時刻を退勤とします。

4-3.判定理論と勤務日の処理 通常版

退勤データの勤務日の処理はなく、端末から取得した勤怠時刻をそのまま勤怠データとしてファイル出力します。



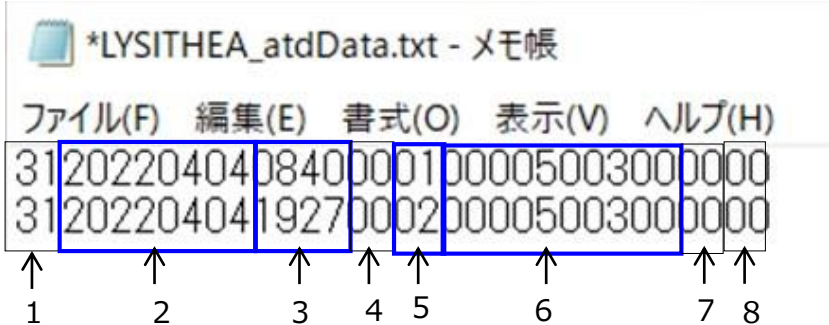
5. 勤怠データフォーマット

勤怠データファイルのデータフォーマットは下記になります。
出退区分は、出勤、退勤になります。外出、再入は非対応となり、表示されません。

◇勤怠データ(txt file)の内容

 LYSITHEA_atdData.txt

勤怠データ(txt file)の中身



2)データレイアウトの説明

	項目名	桁数	区分	備考	
1	データ区分	2	数値	固定値:31	} 打刻データ
2	年月日	8	数値	YYYYMMDD	
3	時分	4	数値	HHMM	
4	シフト	2	数値	固定値:00	
5	出退区分	2	数値	出勤:01、退勤:02	} 打刻データ
6	ID NO	10	数値、英字		
7	例外コード	2	数値	固定値:00	
8	ターミナルNo	2	数値	固定値:00	

6. 勤怠管理システムの打刻時刻の表示例

打刻情報送信ツールを使用して勤怠データを勤怠管理システムへ送信した時の勤怠管理表の打刻時刻の表示例を下記に示します。

①通常勤務

LYSITHEA

ホーム

勤怠内容登録

ログアウト

管理部門用メニュー

個人管理者

2022 / 05

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5 6 7

8 9 10 11 12 13 14

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

29 30 31

当月度

時間外 0:00

法定時間外 0:00

法定時間外(法休含む) 0:00

有休保有 0.0

行使 0.0 残 0.0

休 休 日 日 時

0000000001 堀田 和則

2022 / 5 / 11 (水) 未入力

取消 一時保存 登録

働く 休む 半休

実働時間 8:00

計算

休憩 インターバル時間帯

打刻時刻

出勤打刻 08:37 退勤打刻 18:43

打刻事由

始終業 始業時刻 0900 終業時刻 1800 勤務区分 通常勤務 自動計算 する

備考 事由 備考

休憩 / 私外 / 公外 / 時間項目 / 回数項目

◇勤怠データ(txt file)

```
*LYSITHEA_atdData.txt - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
312022051108370001000000000010000
312022051118430002000000000010000
```

②夜勤勤務

LYSITHEA

ホーム

勤怠内容登録

ログアウト

管理部門用メニュー

個人管理者

2022 / 05

日 月 火 水 木 金 土

1 2 3 4 5 6 7

8 9 10 11 12 13 14

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

29 30 31

当月度

時間外 0:00

法定時間外 0:00

法定時間外(法休含む) 0:00

有休保有 0.0

行使 0.0 残 0.0

休 休 日 日 時

0000000001 堀田 和則

2022 / 5 / 9 (月) 未入力

取消 一時保存 登録

働く 休む 半休

実働時間 6:30

計算

休憩 インターバル時間帯

打刻時刻

出勤打刻 21:01 退勤打刻 04:31

打刻事由

始終業 始業時刻 2101 終業時刻 0431 勤務区分 交替勤務 (3直:夜番) 自動計算 する

備考 事由 備考

休憩 / 私外 / 公外 / 時間項目 / 回数項目

◇勤怠データ(txt file)

```
*LYSITHEA_atdData.txt - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
312022050921010001000000000010000
312022050928310002000000000010000
```

7. 打刻情報送信ツールについて

打刻情報送信ツールは、任意のフォルダ内に実行ファイルや設定ファイルが格納されております。
当ツールは、Javaで動作しているためJavaをインストールした、インターネット接続可能なPCにツールに配置してください。
打刻情報送信ツール及び、当ツールの具体的な構成、設定方法、実行方法を記載したマニュアルの入手方法は下記となります。

当ツールとマニュアルは、LYSITHEA導入済みのお客様にお渡しします。
リシテア(日立ソリューションズ)の担当営業、もしくはSEにお問い合わせください。

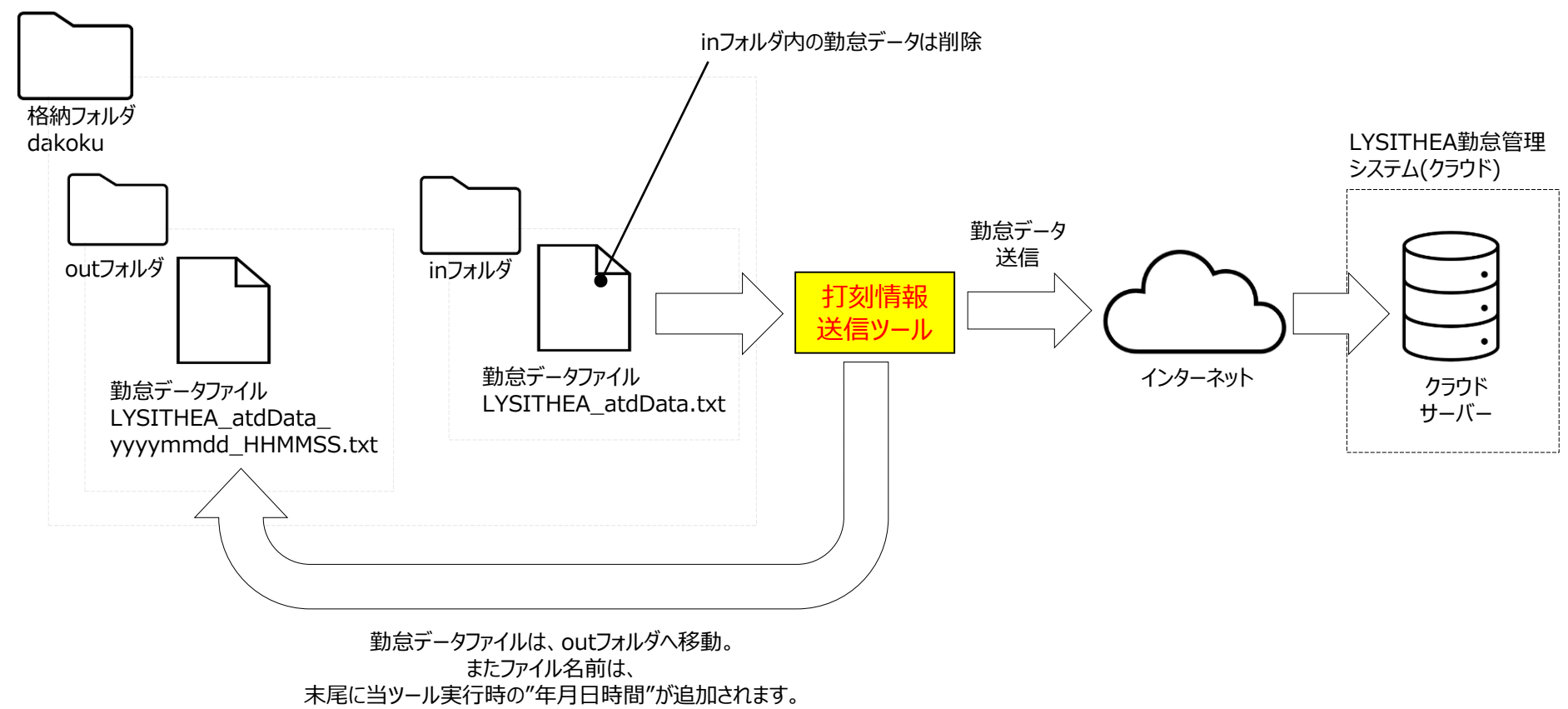
- 打刻情報送信ツールの動作実績のある環境
- OS : Windows 10
 - Java :
 - ・openjdk “1.8.0_202”
 - ・OpenJDK Runtime Environment Correntto-8.202.08.2(build 1.8.0_202-b08)
 - ・OpenJDK 64 Bit Server VM Corretto 8.202.08.2 (build 25.202 b08, mixed mode)

* 勤怠連携プログラムも上記条件で動作することを確認しています。

8. 打刻情報送信ツール実行後の勤怠データの流れについて

打刻情報送信ツール実行後は、dakokuフォルダ配下のinフォルダに格納されている勤怠データファイルのデータを、LYSITHEA勤怠管理システムへ送信します。
また同時に、inフォルダに格納されている勤怠データファイルは削除され、outフォルダに移動します。

打刻情報送信ツール実行後のデータの流れ



9. 打刻データ連携ツールのログ一覧（タッチ版）

[]内は値が入ります

ログ	内容	正常時	エラー発生時
yyyy-mm-dd hh:mm:ss.mmmmmm	プログラム実行時刻(マイクロ秒)	○	○
json error	設定ファイルのJSON記述に誤りがある		○
json file open error	設定ファイルが開けない		○
Invalid checkIn_start/end	設定ファイルのcheckIn_start/end時刻が逆転している		○
Invalid checkOut_start/end	設定ファイルのcheckOut_start/end時刻が逆転している		○
ip address=key error:ipadr or user or pw	設定ファイルのipadr, user, pwの項目が存在しない		○
key error:tst	設定ファイルのtst項目が無い		○
ip address= ,Touch version	設定ファイルのipadr=[ip address], [version]	○	
ping error	端末と通信ができない		○
login error	端末にログインできない		○
data receive OK	端末から勤怠データを取得	○	
data receive error	端末から勤怠データを取得できない		○
write raw file error	勤怠生データのバックアップ用ファイル作成できない		○
ip address= ,no data	勤怠データ中に未処理の勤怠データがない	○	
ip address= ,terminal NO= ,ID= , ,	端末No=[No]、処理した勤怠データのdata baseID=[開始ID]、[終了ID]	○	
write file OK	勤怠データファイルを作成	○	
write file error	勤怠データファイルが作成できない		○
ip address= ,send OK	端末に対して、勤怠データの“処理済み”登録	○	
ip address= ,send error	端末に対して、勤怠データの“処理済み”登録できない		○
deleted backup files	条件に合うバックアップファイルを削除（条件に合うファイルが無い場合は非表示）	○	
checkIn time NG:ユーザー番号 時刻	出勤誤打刻で除外した[ユーザー番号] [時刻]	○	
checkOut time NG:ユーザー番号 時刻	退勤誤打刻で除外した[ユーザー番号] [時刻]	○	
write backup file OK	勤怠データバックアップファイルを作成	○	
write backup file error	勤怠データバックアップファイルが作成できない		○

10. 打刻データ連携ツールのログ一覧（タッチレス版）

[]内は値が入ります

ログ	内容	正常時	エラー発生時
yyyy-mm-dd hh:mm:ss.mmmmmm	プログラム実行時刻(マイクロ秒)	○	○
json error	設定ファイルのJSON記述に誤りがある		○
json file open error	設定ファイルが開けない		○
Invalid checkIn_start/end	設定ファイルのcheckIn_start/end時刻が逆転している		○
Invalid checkOut_start/end	設定ファイルのcheckOut_start/end時刻が逆転している		○
ip address=key error:ipadr or user or pw	設定ファイルのipadr, user, pwの項目が存在しない		○
key error:tst	設定ファイルのtst項目が無い		○
key error:th	設定ファイルのth項目が無い		○
key format error:th	設定ファイルのth項目が時分秒のformatではない		○
ip address=[ip address] ,TouchLess [version]	設定ファイルのipadr=[ip address], タッチレス [version]	○	
ping error	端末と通信ができない		○
login error	端末にログインできない		○
mac address data receive error	端末のMACアドレス取得のためのデータが取得できない		○
mac address error	端末のMACアドレスが取得できない		○
tst_info file open error	端末の情報ファイルが開けない		○
data receive OK	端末から勤怠データを取得	○	
data receive error	端末から勤怠データを取得できない		○
write raw file OK	勤怠生データのバックアップ用ファイル作成	○	
write raw file error	勤怠生データのバックアップ用ファイル作成できない		○
recieved data error	端末から取得した勤怠データが勤怠データのフォーマットではない		○
ip address= ,no data	勤怠データ中に未処理の勤怠データがない	○	
ip address= ,mac=[MACアドレス],ID=[開始ID]、[終了ID]	端末No=[No]、処理した勤怠データのdata_baseID=[開始ID]、[終了ID]	○	
write file OK	勤怠データファイルを作成	○	
write file error	勤怠データファイルが作成できない		○
write tst_info OK mac:[MACアドレス], max_id:[終了ID]	端末の情報ファイル書き込み mac : [MACアドレス], max_id : [終了ID]	○	
write tst_info error mac:[MACアドレス], max_id:[終了ID]	端末の情報ファイル書き込みエラー mac : [MACアドレス], max_id : [終了ID]		○
deleted backup files	条件に合うバックアップファイルを削除 (条件に合うファイルが無い場合は非表示)	○	
checkIn time NG:[ユーザー番号] [勤怠時刻]	出勤誤打刻で除外 : [ユーザー番号] [勤怠時刻]	○	
checkOut time NG:[ユーザー番号] [勤怠時刻]	退勤誤打刻で除外 : [ユーザー番号] [勤怠時刻]	○	
write backup file OK	勤怠データバックアップファイルを作成	○	
write backup file error	勤怠データバックアップファイルが作成できない		○
discontinuous time error	端末のデータベースの勤怠時刻に不連続がある		○